がんばろう！東北

北上川下流河川事務所
平成２５年８月２日

災害対策機械を栗原市に派遣、浸水時間を約６７時間短縮

７月２６日の低気圧による降雨で、三迫川（さんはざまがわ）流域の「照越（てるこし）川」において堤防決壊による浸水被害が発生したため、国土交通省排水ポンプ車により内水排除を行った結果、浸水時間を約６７時間短縮でき、８月１日に浸水が解消されました。

○リエゾン、TEC-FORCE、災害対策機械の活動状況

①リエゾンの活動状況

・平成25年7月26日22:20～8月1日17:00、延べ１０名を派遣し、排水支援などの調整にあたる。

②TEC-FORCEの活動状況

・平成25年7月27日5:30～8月1日17:00、延べ９名を派遣し、国土交通省排水ポンプ車による内水排除、現地活動状況の映像配信、技術支援にあたる。

③災害対策機械の活動状況

・平成25年7月27日7:45～8月1日11:20、国土交通省排水ポンプ車３台（３０m3/min級２台、６０m3/min級１台）で、浸水区域約１３０haの内水排除にあたる。

・同期間の国土交通省排水ポンプ車と横須賀排水機場（栗原市）等の総排水量は、約１８０万㎥（25mプール 約６，０００杯）。

・うち、国土交通省排水ポンプ車による排水量は、約６５万㎥（25mプール 約２，２００杯）。

・Ku-SAT（衛星小型画像伝送装置）を1台設置し、災害対策本部が設置された栗原市に映像配信。

・ゴムボート１隻を派遣し、ポンプ吸引口周りの支障物を除去。

○排水ポンプ車による被害軽減効果

国土交通省排水ポンプ車と横須賀排水機場（栗原市）等で、約１２４時間内水排除にあたり浸水約１３０haが解消されました。国土交通省排水ポンプ車の排水により、浸水時間が約６７時間短縮できたと想定されます。

本資料に掲載する数値等は速報値であり、今後の精査により変更する場合があります。

北上川下流河川事務所記者発表についてはホームページでご覧になれます。
ホームページアドレス【http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/】
記者発表会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
宮城県石巻市蛇田字新下沼８０
電話　０２２５－９５－０１９４　（代表）
副　所　長　　佐藤　正明（内線２０５）
調査第一課長　　山田　拓也（内線３５１）

平成 25年　8月　2日
北上川下流河川事務所

～ 平成25年7月26日　低気圧に伴う降雨～
リエゾン・TEC-FORCE（ﾃｯｸ・ﾌｫｰｽ）
を派遣し自治体を支援（結果報告）

～　浸水時間を約67時間短縮（浸水時間を約2／3に短縮）　～

※【リエゾン】 災害対策現地情報連絡員
※【TEC-FORCE(ﾃｯｸ・ﾌｫｰｽ)】 緊急災害対策派遣隊

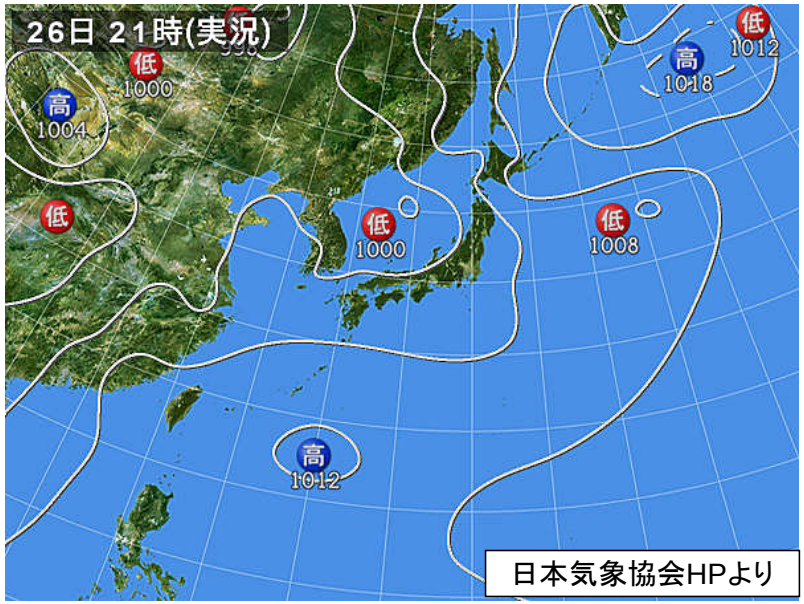
速報版に付き、今後情報が変更となる可能性があります。

低気圧に伴う出水の概要

上空に寒気を伴った低気圧が日本海にあって東へ進み、低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、東北地方は広い範囲で大気の状態が非常に不安定となった。

26日00時から27日06時までの、主な地点の総雨量と最大1時間雨量

	総雨量	最大1時間雨量（起時）
栗原市築館	158．5	62．5（26日　14時36分）
気仙沼	143．0	84．5（26日　20時07分）
丸森町筆甫（ひっぽ）	123．5	86．0（26日　11時55分）



三迫川（さんはさまがわ）流域　照越川（てるこしがわ）の堤防決壊による浸水状況

照越川左岸（堤防決壊状況）
7月27日18時頃

7月28日8時30分に締切り完了

リエゾン活動状況（栗原市）

「リエゾン」　延べ10人を派遣

7／26　22:20　～　8／1　17:00

〇支援内容
①栗原市の災害対策本部会議への出席
②TEC-FORCEの活動調整
③排水支援その他の調整

〇時系列(リエゾン)

7/26	21:00	災害対策応援支部 注意体制
	22:20	第1陣（2名） 栗原市着
7/27	08:30	栗原市災害本部会議出席
	09:10	第2陣（2名） 栗原市着
	13:45	第1陣 事務所帰着
	15:00	栗原市災害本部会議出席
7/28	09:15	第3陣（2名） 栗原市着
	10:30	栗原市災害本部会議出席
	13:16	第2陣 事務所帰着
7/29	09:50	第4陣（2名） 栗原市着
	13:50	第3陣 事務所帰着
	14:00	栗原市災害本部会議出席
	19:00	災害対応応援支部 注意体制解除
	20:15	第4陣 事務所帰着
7/31	11:05	第5陣（1名） 栗原市着
	11:30	栗原市災害本部会議出席
	14:20	第5陣 事務所帰着
8/ 1	10:45	第6陣（1名） 栗原市着
	11:05	栗原市と排水作業終了を協議
	17:00	第6陣 事務所帰着

第一回災害対策本部会議の状況

第三回災害対策本部会議の状況

栗原市災害対策本部会議に出席

栗原市役所内における情報収集、TEC-FORCEの排水ポンプ車運用支援などを実施

TEC-FORCE(テック・フォース) の活動状況(照越川)

TEC-FORCE(ﾃｯｸ･ﾌｫｰｽ)
延べ９人を派遣

7／27　05:30～　8／1　17:00

〇支援内容
①排水ポンプ車による内水排除
②現地活動状況の映像配信
③現地状況調査・技術支援

〇時系列(TEC-FORCE)

7/27　05:30　第１陣　栗原市着
（応急対策班　情報通信班　計2名）
08:30　栗原市災害本部会議出席
10:30　Ku-SAT現地映像発信
16:18　第２陣　栗原市着（応急対策班　計1名）
17:11　第１陣　１名事務所帰着
17:15　上流河川の被災状況や浸水状況を確認
20:48　第１陣　１名事務所帰着

7/28　09:24　第３陣　栗原市着（応急対策班　計2名）
13:16　第２陣　１名事務所帰着
15:17　第４陣　栗原市着（被災状況調査班　計2名）
16:00　決壊箇所にて県と打合せ
16:25　栗原市危機管理監と打合せ
17:55　第４陣　２名事務所帰着
21:13　第５陣　栗原市着（応急対策班　計1名）
22:15　第３陣　２名現地出発

7/29　13:50　第５陣　１名事務所帰着
14:30　第６陣　栗原市到着（情報通信班　計1名）
17:30　第６陣　１名事務所帰着

8/ 1　10:45　第７陣　栗原市到着（応急対策班　計1名）
11:20　排水作業終了
17:00　第７陣　１名事務所帰着

※　第3陣は、東北技術事務所からの派遣

【活動内容】
〇浸水状況及び排水ポンプ車の配置、稼働状況の調査

【活動内容】
〇堤防決壊箇所及び周辺被害状況を宮城県と情報共有

【活動内容】
〇夜間の排水状況、稼働状況の確認

排水ポンプ車等の活動状況（照越川）

災害対策機械

○排水ポンプ車　3台
　30m3/min×2台、60m3/min×1台
　※25mプールを約150秒で排水可能。
　※ 60m3/min×1台は東北技術事務所より派遣

○Ku-SAT　　1台　を派遣

○ゴムボート　　1隻　を派遣

時系列

7/27　07:45　排水ポンプ車①　稼働
　　10:30　Ku-SAT現地映像配信
　　11:30　排水ポンプ車②　稼働
　　17:00　排水ポンプ車③　稼働
　　21:05　排水作業中止
　　（伊豆沼が規制水位に達したため）
7/28　13:41　①②③稼働再開
8/ 1　11:20　排水作業完了

排水ポンプ車稼働状況（H25年7月28日）

Ku-SAT 設置状況（H25年7月28日）

Ku-SAT用アンテナ

Ku-SAT用カメラ

浸水解消

排水ポンプ車による内水排除の効果

内水排除効果

（1）総排水量

排水開始（27日7:45）から完了（8月1日11:20）まで

約 180 万m³　（25mプール　約6，000杯）

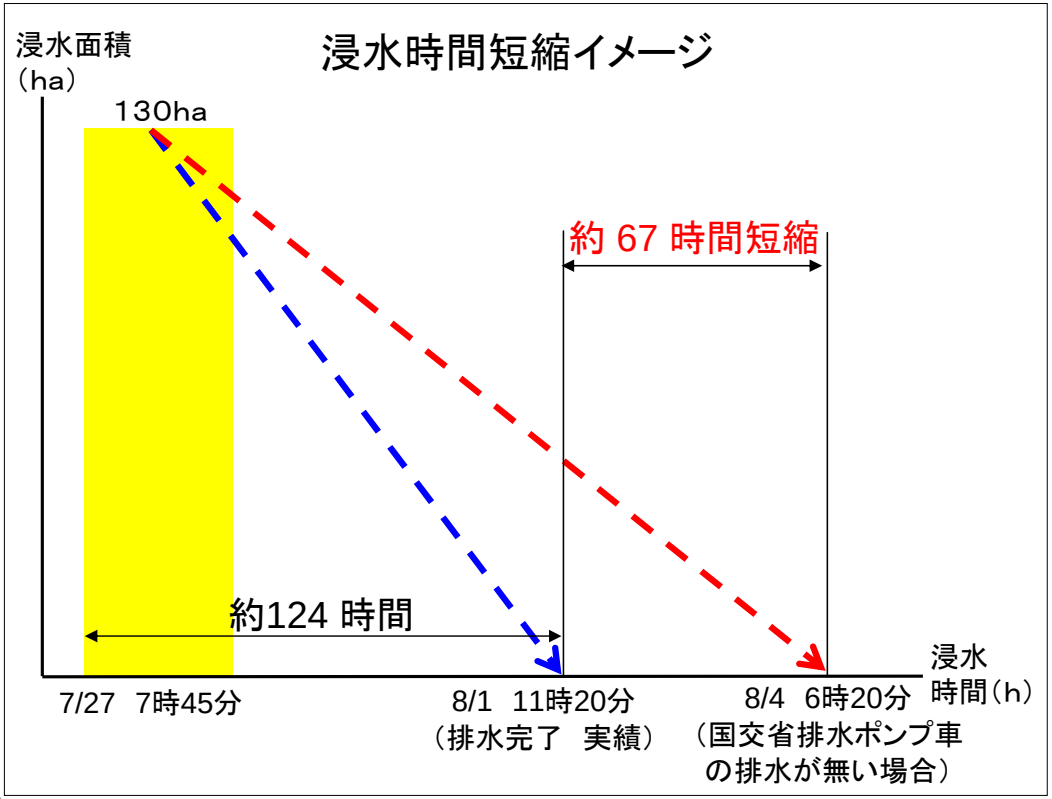
※ うち、堤防決壊箇所締切後（28日8:30以降）の排水量
約150万　（25mプール　約6,000杯）

（2）国交省排水ポンプ車による排水量

排水開始（27日7:45）から完了（8月1日11:20）まで

約 65 万m³　（25mプール　約2，200杯）

※ うち、堤防決壊箇所締切後（28日8:30以降）の排水量
約60万　（25mプール　約2,000杯）

（3）国交省排水ポンプ車による内水排除作業によって、**浸水時間が 約 67 時間 短縮**された。

【算定方法】
・算定にあたっては、排水機場、排水ポンプ車等の能力及び実績運転時間より推定した。